

平成 29 年 11 月 6 日

各 位

船 井 電 機 株 式 会 社

代 表 者 名 代表取締役 執行役員社長
船越 秀明

(コード番号 6839 東証第一部)

問 合 せ 先 IR・広報室

TEL 072-870-4395

特別損失の計上並びに第2四半期連結累計期間及び 通期の連結業績予想数値の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、特別損失を計上するとともに、最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 5 月 15 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日) 第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失(減損損失)の計上

当社及び当社の連結子会社が保有する固定資産について、収益性が低下し、減損の兆候が認められたことから、将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額 10,000 百万円を減損損失として特別損失に計上する見込みであります。

2. 連結業績予想数値の修正

(1) 第2四半期連結累計期間 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり当 期純利益
平成 29 年 5 月 15 日 発表予想 (A)	百万円 81,400	百万円 600	百万円 700	百万円 400	円 銭 11.72
今回修正予想 (B)	72,100	△4,000	△3,600	△13,000	△381.02
増減額 (B-A)	△9,300	△4,600	△4,300	△13,400	
増減率 (%)	△11.4	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 29 年 3 月期 第2四半期)	66,104	△3,606	△7,490	△7,648	△224.18

(2) 通期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり当 期純利益
平成 29 年 5 月 15 日 発表予想 (A)	百万円 160,000	百万円 600	百万円 700	百万円 200	円 銭 5.86
今回修正予想 (B)	140,000	△8,400	△8,000	△17,400	△509.98
増減額 (B-A)	△20,000	△9,000	△8,700	△17,600	
増減率 (%)	△12.5	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	133,838	△6,775	△7,726	△6,745	△197.70

3. 修正の理由

(1) 第2四半期連結累計期間

売上高については液晶テレビの積極的な販売を進めましたが、北米の地域量販店において競合相手との価格競争が激しくなっていることにより、販売数量が落ち込んだことに加え、年末商戦向けの売上が一部下期にずれ込んだことなどにより減少する見込みとなりました。

営業利益及び経常利益については、売上の減少に加え、液晶パネル価格の下落が想定よりも遅れたこと、また、半導体部品において特にメモリ関連の価格が高止まりしたことなどにより、収益を圧迫し粗利益が減少する見込みとなりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益については、前述の内容に加え、上記 1 に記載のとおり、特別損失を計上することなどにより、前回予想を下回る見込みとなりました。

(2) 通期

第3四半期以降についても、液晶テレビの価格競争激化に伴い、更なる販売数量の落ち込みが見込まれることなどから、通期についても売上高の予想を修正いたしました。

親会社株主に帰属する当期純利益についても液晶テレビの減収による減益が見込まれること、また、引き続きメモリ関連等の部材価格の高止まりによる収益の圧迫が見込まれることなどから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益も併せて修正いたしました。

注：上記の予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上